

地球環境ガバナンス概説

阪 口 功

1. 地球環境問題の分類

(1) 大気系

- ① 地球温暖化問題
- ② オゾン層の破壊
- ③ 酸性雨

→ 共有[]の管理（囚人のジレンマの防止）の問題

(2) 水系

- ① 海洋汚染
- ② 国際河川の汚染

→ 共有[]の管理（囚人のジレンマの防止）の問題

(3) 生息地系

- ① 砂漠化
- ② 森林
- ③ 湿地

→ []の管理の問題

(4) 野生生物

- ① 公海の漁業資源
 - ・ ストラドリリング魚種
 - ・ 高度回遊性魚種
 - ・ 南極海域の漁業資源

→ 共有[]の管理（囚人のジレンマの防止）の問題

- ② 越境性の野生生物

- ・ 渡り鳥
- ・ 鯨類、海亀、海牛
- ・ ヌー

→ 共有プール資源の管理（囚人のジレンマの防止）の問題

- ③ 非越境性の野生生物

- ・ 200海里内の漁業資源
- ・ そのほか大半の野生生物

→ []の管理の問題

(5) 国際取引

- ① 野生生物の取引 →調整行動の問題
- ② その他貿易規制措置 →調整行動の問題
- ③ 有害廃棄物の越境移動 →倫理の問題

2. 国際制度の類型

(1) ハードな制度

- ① 規制的制度
- ② 手続き的制度

(2) ソフトな制度

- ③ プログラム的制度
- ④ 生成的制度

3. ハードな制度の代表例

(1) 枠組み条約形式：

- ・ 枠組み条約+議定書：狭義の枠組み条約形式
 - ① 気候変動防止枠組み条約
 - ② オゾン層の保護のためのウィーン条約
 - ③ 長距離越境大気汚染条約、
- ・ 条約+付属書：広義の枠組み条約形式
 - ① 国際捕鯨取締条約
 - ② ワシントン条約
 - ③ ボン条約

※ レジームの「発展」の重要性

(2) 条約形式

- ① バーゼル条約
- ② ロンドン条約、マルポール 73/78 条約

4. ソフトな制度の代表例

- ・ ラムサール条約
- ・ 砂漠化防止条約
- ・ 生物多様性条約
- ・ UNCED（アジェンダ 21、リオ宣言）と CSD

5. なぜ環境を守るのか

- ・ 国際捕鯨取り締まり条約（1946）
- ・ 油濁公海措置条約（1969）

-----（分断線）

- ・ ワシントン条約(1973)
- ・ 地中海汚染防止条約（1976）
- ・ 世界自然憲章（1982）

6. アクターの選好はいかに形成されるのか

- ・ ホモ・[]
- ① 知識→利益→選好
- ・ ホモ・[]
- ② 知識→規範→選好
- ・ 混合動機
- ③ 利益+規範→選好

7. 応用問題

- ① なぜ A さん（♀）は B さん（♂）と結婚したのか？
- ② なぜ先進国は途上国に援助するのか？
- ③ なぜトキを保護するのか
- ④ なぜ私はエアコンをつけずに我慢するのか
- ⑤ なぜ、日本や EU は京都議定書を離脱しないのか？